

ヤングケアラーの理解を深め支援を考える研修会 実施要領

1 趣旨

本来は大人が担うような責任を引き受け、日常的に家族の介護や世話、家事をすることも「ヤングケアラー」。埼玉県が2020年に県内すべての高校2年生（およそ55,000人）を対象に行った調査では、25人に1人がヤングケアラーであるという結果になりました。年齢や成長段階と合っていない重いケアや家事によって、こどもらしい生活を送れない、望む進路や仕事をあきらめざるを得ないなど社会的な課題となっています。そのため、地域におけるヤングケアラーの理解者を増やし、そうした状況に早期に気づくとともに適切な支援につなげる必要があります。

本研修会では、ヤングケアラーについて正しく理解し、ヤングケアラーに気づくポイントや、支援の考え方、信頼関係の築き方などについて学び、地域で共に暮らす住民や地域福祉活動者ができることを考える機会とします。

2 主催

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会（埼玉県福祉部地域包括ケア課委託事業）

3 対象者

主任児童委員、民生委員・児童委員、こどもの居場所運営者、地域福祉活動者等（支え合い活動やサロン活動、ボランティア活動者）、社協職員、地域包括支援センター職員等

4 日時・会場等（同じ内容の研修会を5会場で開催します）

	日にち	会場
川越	令和6年 9月12日（木）	ウェスタ川越 多目的ホールA～C （川越市新宿町1丁目17-17）
さいたま①	〃 10月 8日（火）	さいたま市文化センター 多目的ホール （さいたま市南区根岸1-7-1）
さいたま②	〃 10月16日（水）	彩の国すこやかプラザ セミナーホール （さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65）
春日部	〃 10月29日（火）	ふれあいキューブ 多目的ホールB （春日部市南1-1-7）
熊谷	〃 11月29日（金）	熊谷文化創造館さくらめいと 月のホール （熊谷市拾六間111-1）

研修時間：各日13:20～16:10（受付13:00～）

5 定員

各会場110人定員（ただし、熊谷会場は60人）。先着順で受け付けます。

6 講師

さいたま①・春日部・熊谷会場

一般社団法人ケアラーワークス 代表理事 田中 悠美子 氏

専門：社会福祉学（認知症ケア、地域福祉、ヤングケアラー支援等）

一般社団法人日本ケアラー連盟理事

令和4年度埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会委員（議長）

立教大学 コミュニティ福祉学部福祉学科 非常勤講師

川越・さいたま②会場

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 上原 美子 氏

専門：教育福祉学（学校精神保健・学校福祉・ヤングケアラー支援等）

埼玉県教育委員会 ヤングケアラー授業デザインキット作成委員会委員

一般社団法人日本ケアラー連盟会員、福島県ヤングケアラー専門家会議委員

7 内容

時間	プログラム	内容
13:20～13:25	オリエンテーション	開催あいさつ
13:25～14:00	基礎講座	■ヤングケアラーの基本的な理解、気づくポイント、信頼関係の築き方、つなぎ先等について学ぶ
14:00～14:30	ゲストスピーカーから学ぶ	■当事者（元ヤングケアラー）の体験談
(10分)	休憩	
14:40～15:50	グループワーク	■事例検討 ヤングケアラーかもしれないこもとの信頼関係の築き方、支援が必要な場合に自身の活動でできることを考える
15:50～16:05	全体フィードバック まとめ	■全体共有 グループ発表、講師コメント
16:05～16:10	閉会	事務連絡

8 申し込み

(1) 参加のお申込みは、下記URLまたはQRコードからお願いします。

申込先：<https://ws.formzu.net/dist/S87633871/>

申込開始：7月1日（月）から

(2) 参加費：無料

(3) 締切：各日程開催5日前または定員に達した時点



9 問い合わせ先

埼玉県社会福祉協議会 地域福祉部地域連携課（担当：大塚・近藤）

TEL：048-822-1248 Eメール：chiiki-g@fukushi-saitama.or.jp

10 会場地図

※各会場とも、駐車場の台数に限りがあります。公共交通機関の利用にご協力をお願いします。また、お車でお越しの際は、できるだけ乗り合わせてお越してください。

■ウェスタ川越（川越駅「西口」から徒歩約5分）



■さいたま市文化センター（南浦和駅「西口」から徒歩約7分）



